

長門市の魅力ポイント ■面積 357.31 km² ■人口 約3.0万人 ■指定地域 振興山村、特定農山村、過疎

■ 音信川沿いに広がるオソト天国「長門湯本温泉」

→地域のシンボル「恩湯（おんとう）」や話題の「界 長門」に加え、山口県初となる川テラスや飛び石、街中を照らす幻想的なライトアップ、レストランやカフェ等が続々開業。民間主導の公民連携により、温泉街の“リノベーション”を実施。

■ 濃厚水素の美肌名湯と外湯文化が作り出す独特な街並み「俵山温泉」

→湧出量の少ない良質な源泉を維持するために、俵山温泉の旅館にはほとんど内湯がない。江戸時代から続く老舗旅館や木造旅館が軒を連ねる温泉街を散策しながら共同外湯温泉へ。

■ アメリカCNN「日本の最も美しい場所31選」に選ばれた「元乃隅神社」

→海岸から鳥居123基が100m以上にわたって並ぶ姿が印象的。赤い鳥居と青い海のコントラストが美しい、絶景が自慢の神社。

■ 人口1万人あたりの店舗数は日本トップクラス！「焼き鳥」

→長門市の焼き鳥は長ねぎではなく玉ねぎが使われ、ちぎったキャベツと一緒に提供される。卓上にはガーリックパウダーが置かれている店が多く、一味や七味唐辛子と合わせてお好みで付けながら食べるという特徴もある。



(出典) <https://smout.jp/maps/17293>



(出典) <https://oidemase-Yamaguchi.jp/nishinokunikara/materials/805>

長門市の課題

■ 政策分野 観光、農林業・畜産振興

【観光】

- 来訪者の約8割が日帰りで、宿泊は周辺の萩市や下関市、又は福岡に帰るというパターンが多く、客数の割に地域経済への波及効果が限定的。
- 観光スポットはあるものの、公共交通機関が少なく、レンタカーや自家用車以外の市内の移動が不便。
- インバウンド宿泊比率は約3%と、日本全体のインバウンド需要を取り込めていない。

【農林業】

- 長州黒かしわ（地鶏）、長門ゆずきち（柑橘）等のブランド食材はあるが、若手生産者が少なく後継者不足で供給量が追いついていない。
- 平野が少なく、山間部や傾斜地に農地が点在。耕作放棄地が増加し、鳥獣が増える悪循環となっている。

応援隊の活動報告

- 令和6年6～8月：オンライン打合せ
(市より畜産業・観光業の様々な課題の説明、応援隊より観光拠点整備、土地の造成基本計画の策定等に活用できる補助金・交付金制度の紹介等)
- 令和6年9月：現地視察① (市長との意見交換、現況把握)
- 令和6年10月～令和7年9月 オンライン打合せ (課題設定、事例提供等) ※月一程度
- 令和7年10月：現地視察② (観光コンテンツ体験、観光協会や地域住民、長門市との意見交換)
- 令和8年3月：国土政策局員が現地視察 (公民連携の長門湯本温泉のまちづくり、地銀の関わり方等を調査)
これまでの視察や意見交換を踏まえ、関係施策の情報提供や提案等を実施

まとめ

- 昨年度の活動において、観光分野については、観光滞在日数の長期化・観光消費額の増加に向けた仕掛けづくりの提案、畜産分野については、肉用鶏と肉用牛を地域内一貫生産する畜産団地の整備に向け情報提供等を行ってきた。
- 今年度の出張で、農業分野等で後継者不足・人材不足の課題も浮かび上がったことから、年度内に二地域居住や農泊といった国交省、農水省が持つ関係人口に関する情報提供や提案等を実施。